

## 会議録

会議の名称	西東京市総合計画策定審議会第3回会議
開催日時	平成19年11月16日（金曜日） 午後0時30分から午後2時30分まで
開催場所	西東京市役所田無庁舎4階第3委員会室
出席者	齋藤隆雄会長、奥野英子副会長、水谷俊博副会長、熊田博喜委員、小林康男委員、栗村千代丸委員、高崎三成委員、浜昱子委員、福田和昭委員、松行美帆子委員、本橋定昭委員、渡辺進委員 （事務局）尾崎正男企画部長、飯島享企画政策課長、古厩忠嗣企画政策課課長補佐、森谷修企画政策課主査、増岡利典企画政策課主任
議題	1. 開会 2. 西東京市総合計画策定審議会第2回会議録について 3. 各種調査について
会議資料の名称	(1)市民意識調査結果 (2)基礎データ分析（人口推計） (3)企業・団体ヒアリング調査報告 (4)後期基本計画施策体系（案）
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>発言者名： 発言内容</p> <p>1. 開会</p> <p>齋藤会長 最初に事務局から願います。 事務局 資料について修正があったので、差し替えさせていただく。また、前回の会議で委員の皆様方のプロフィールがあればということだったので、資料を用意した。</p> <p>2. 第2回会議録について</p> <p>齋藤会長 西東京市総合計画策定審議会第2回会議録について修正等あったら願います。 齋藤会長 ないようなので、承認されたものとする。</p> <p>3. 各種調査結果について</p>	

資料1について

齋藤会長

資料1について、質問等はあるか。

A委員

61ページについて、一般的にどれくらいの数が市民活動に参加するのが普通なのだろうか。3割の人が市民活動に参加しているのはすごいことだと思う。

事務局

西東京市は市民活動が盛んだと思う。ただ、ここでは現在参加していないが今後参加したい、現在参加しているが今後は参加したくないという意識の変化に着目している。

B委員

前回の調査項目以外の調査項目はあるのか。

事務局

経年変化をみている項目は前回調査と同じ質問をしているが、それ以外に前回調査にはなかった設問も多くある。

B委員

設問に対する回答以外の要望はとっているのか。

事務局

自由回答欄の記述は、資料としては用意していないが、データとしては整理している。

齋藤会長

自由記述欄から新しい視点がみつけれられることもあると思う。

事務局

今後、テーマ別などで整理してわかりやすい形で示したいと思う。

A委員

平成13年度の調査と比べてサンプル数が半分になっているはなぜか。また、平成13年度のアンケートは総合計画策定のためのアンケートだったのか。

事務局

経費の理由でサンプル数を半分にしている。また、平成13年度のアンケートは総合計画の策定に利用している。

A委員

サンプル数が半分になると誤差も大きくなるので、例えば、P.61の数字などについては前回調査とのサンプル数の違いを考慮しなくてよいのだろうか。

事務局

確かにサンプル数は半分になったが、増減の傾向はみることが可能だと考えている。

C委員

可能であれば、地域を軸としたプロットを出していただきたい。

事務局

町単位では回答数が少ないので、ブロック単位だと出せると思う。地域区分は今後検討する。

齋藤会長

交通の問題など、地域性のある項目もあると思うので、お願いする。

資料2について

齋藤会長

資料2の人口推計について何か意見・質問があればお願いします。

B委員

人口推計の結果を予算に反映するのならば、各部門に考えなければいけない点を指示す

事務局

人口推計の結果はまず総合計画に利用するが、市の他の個別計画で人口推計が必要な場合は基本的にはこの推計結果を使用することになる。最初のページにポイントを示しているが、合わせて庁内でも説明していく。また、総合計画の施策を考えていく中でベースとなるため、この報告書の内容を踏まえて今後御議論いただきたい。

D委員

残っている工場跡地などから高位・中位の今後の開発量を推計したのか。また、大規模開発のひな型として想定した世帯人員や高齢者の割合が低いことと他の面とどのように整合させていくのか。

事務局

現在の工場跡地などから今後の開発量を推計したわけではなく、都の推計などと比較して傾向を考慮した。近々に予定されているもの以外には大規模用地は見込めないので開発のペースは緩やかになると想定した。

E委員

平成27年がターニングポイントになっている理由は何が考えられるか。

事務局

ひばりが丘団地の建て替え事業が平成27年度に終了予定であることが要因と考えられる。

C委員

この推計結果は何年度まで有効で、何年度以降は参考値なのかははっきりさせておいた方がよいのではないか。

事務局

後期の計画は期間が5か年なので、その意味では平成25年度までである。

資料3について

齋藤会長

資料3のヒアリング結果について何か意見・質問があればお願いします。

B委員

法曹界の団体は含めていないのか。

事務局

現段階では法律関係の方々にはお伺いしていない。

齋藤会長

団体の目的、経済基盤を表に含めるとわかりやすいのではないかと思う。

事務局

わかる範囲で整理したいと思う。

A委員

自治会や町内会にはヒアリングしないのか。

事務局

今回のヒアリングではひばりが丘団地自治会に聞いている。

A委員

市民団体には分野別のものと地域単位のものがあるが、地域的な面については市民アンケートでみる、ということか。

事務局

そのように考えている。

資料4について

E委員

基礎データ欄の「特になし」について御説明いただきたい。

事務局

人口増などを踏まえてヒアリングなどを行っているが、現段階ではまだ入れ込んでいない。施策に関する基礎データを洗い出し中で、入れ込んだものを作成する。

A委員

財政に関するデータは今後提供されるのか。また、市民アンケートの結果は反映されるのか。

事務局

財政については、人口推計の結果をもとにして今後の見通しを示す。アンケートについては施策との関連付けの作業をしている段階である。施策や事業群の考え方を作る段階で参考にしたいと考えている。

A委員

アンケートの自由記述欄やヒアリング結果にも重要な要素はあると思うので、十分に反映していただきたい。

F委員

地域福祉を進めていくためには市民参加が重要だと思うが、コミュニティ活動と地域福祉の関連がみえない気がする。また、地域福祉を支える人材育成について説明をお願いします。

「障害者の就労を支援します」のとなりに「現行のまま」とあるが、現行のままではいけないのではないか。

事務局

コミュニティと地域福祉の関連については、笑1-1-1と協1-1-3にかかると考えている。

「現行のまま」という表現は前期計画の体系を踏襲する、という意味で、施策の内容が現行のままという意味ではない。

C委員

「行政内部の効率化」はテーマに含まれていないのか。

事務局

11ページにあるが、行財政については計画に含めている。実際の進行管理は「行財政改

革大綱」で行っていく。キーワードは計画に含めたいと思う。

C委員

重要な部分なので明確に示していただきたい。

事務局

別の場で議論中である。次回に参考資料をお出しできると思う。

斎藤会長

アンケートやヒアリングの意見がどのように反映されるかなど、根本的な点が整理されていないように思うので、継続して議論していきたいと思う。

#### 4. その他について

G委員

今後のスケジュールの予定はどうなっているか。

事務局

(資料配布、説明)

H委員

印刷物の完成はいつごろになるか。

事務局

来年の夏場から秋口には冊子としてまとめたいと考えている。

C委員

答申のタイミングはいつごろになるか。

事務局

来年の夏場を考えている。

斎藤会長

次回の委員会はいつごろにするか。

事務局

2月22日(金曜日)に開催したい。開始時刻は午後2時とする。

<会議終了>